



## 「東日本大震災メモリアル day 2022」



令和5年 1月 20～21日、宮城県多賀城高等学校で「東日本大震災メモリアル day 2022」が開催され、生徒会長・上久保もも花さんと副会長の藤井陽斗さんが、「高石高校の防災・減災活動」を発表しました。全国から選ばれた14校の高校が震災をテーマとする研究成果を発表する大会で、本校はコロナ禍における継続した防災の取組みが認められての参加です。今回初参加ながら、充実した活発な活動が評価されて優秀賞をいただきました。



### 福島県住民による震災復興活動の講演会を行いました！

11月16日、1年生の補完の時間をお借りして、「防災・減災活動講演会」を開催しました。東日本大震災時に被災した、福島県・阿部農縁の寺山佐智子様に来校いただき、当時のご苦労と、現地復興の足取りを伺いました。オンラインで全クラスに配信されました。

## 「防災・減災」活動 & 「北方領土隣接地域訪問学習」報告会



12月14日、本校視聴覚室で活動事業報告会を開催しました。司会進行は生徒会執行部が務めました。「世界津波の日高校生サミット」の報告を皮切りとして、「防災国体」報告、「災害ボランティア支援事業活動 in 福島・宮城」の報告と続き、最後に「北方領土隣接地域訪問」報告が行われました。講評の三陸復興観光コンシェルジュセンター長・阿部様からは取組みのすばらしさを、高石市副市長の福井様からは熱いエールをいただきました。

## 北方領土を見てきました！～「北方領土隣接地域訪問学習」活動～

11月24日～25日、有志生徒3名と校長先生、北岡先生の5名で根室市に伺い、北方領土に関する学習をしてきました。

この事業は、本校同窓会の助成によって実現したもので、「過去を学び、現在を知り、未来を考える」をコンセプトとしており、

現地の方から多大な協力を得て実現したものです。釧路到着後の最初の訪問地が根室市役所で、表敬訪問した石垣雅敏根室市長から直接お話を伺うことができました。その後、納沙布岬に出向き、手の届くところに浮かぶ北方領土の島々を目にしました。当地にある北方館では、北方領土問題の発生の状況や歴史的経緯を学び、北方四島交流センターでは、佐田館長から現在の状況を、元島民の角鹿様からは島で暮らしていた頃の、生活の様子を話していただきました。また、根室高校の先生からは、生徒の皆さんの活動内容を伺いました。参加生徒は、大きな刺激を受けて帰ってきました。

